

物語『あっちもこっちもこの世はもれなく』



いとうみく/作 ころりよ/絵 PHP研究所

世の中不公平なことばかり？

小学4年生の公太は、背が低いことがなやみです。親友の希来里は、背が高く、手足も長い男の子。2人は、バレーボールが好きなことをきっかけに仲良くなり、ジュニアクラブに入ることになりました。希来里は、すぐにスタメンになります。一方、公太は、たくさん努力をしているのに報われず、希来里をうらやましく思います。そして、世の中不公平なことばかりだと思うようになります。

でも、不公平な思いをかかえているのは公太だけではなく、だれにでも思い当たることがあるようです。実は、希来里にも、不公平だと感じることはあるようですよ。世の中不公平だと感じたことのあるあなたに読んでほしい1冊です。

物語『莉緒と古い鏡の魔法』 香坂理/作 結布/絵 朝日学生新聞社

自分の気持ちを伝えよう

自分の気持ちを人に伝えるのが苦手な6年生の莉緒。嫌なことがあっても、「別にいい」と自分の気持ちを隠してしまいます。そんな莉緒が、不思議な体験をします。春休みに引っこした古い洋館にあったアンティークの鏡が光ったのです。その鏡に話しかけると、鏡の精だという男の子廉が現れます。廉は、80年もの間、鏡の中に閉じこめられていたのだそうです。

また、洋館にあった銀の小箱に入ったチャームには魔法がかかっており、人々の願いを叶えてくれます。しかし、願いをかなえる反面、裏の力が働き、悪い影響をおよぼす恐れがあるのです。莉緒は、だれかの心に入りこんでしまったチャームを探すことに。

莉緒は、廉やクラスの友達が出来たことで、少しずつ成長していくのですが、一番思いを伝えたい人に、自分の気持ちを伝えることはできるのでしょうか？



物語『二番目の悪者』 林 木林/作 庄野ナホコ/絵 小さい書房



一体だれが悪いのでしょうか？

金のたてがみが自まんのライオンは、次の王様になるのは自分だと信じていました。しかし、この国の動物たちは、街外れに住む優しく強い銀のたてがみのライオンが王様になるのがふさわしいとうわさしていました。銀のライオンは、休む間もなく、こまっている人を助けて回っていたのです。金のライオンは、銀のライオンが王様になることを恐れて、とんでもないことを思いつきます。それは、銀のライオンの悪い噂を広めて歩くことでした。うわさを聞いた人達は…。さて、どうになってしまうのでしょうか？

登場するのは、動物ばかりですが、自然と人間に当てはめて読んでしまうお話です。タイトルの二番目の悪者とはどういう意味なのか、考えながら読んでみましょう。

物語『5番レーン』 ウン・ソホル/作 ノ・インギョン/絵 すんみ/訳 鈴木出版

大切なことに気づかされます

小学校6年生の女の子カン・ナルは、水泳部のエース。小さいころから姉と共に水泳を始め、試合では何度も優勝している実力者。そんなカン・ナルに他校のライバルが現れ、試合で負け続けていることをなやんでいました。コーチから、「勝ち負けだけが水泳ではない。」と、アドバイスされますが、カン・ナルは理解できないでいました。ついには、ライバルの水泳水着が、不正ではないかとさえ疑ってしまいます。

しかし、カン・ナルには、6才から一緒に水泳をしている水泳部の部長や、実力のある転校生などのいつでも味方になってくれる仲間がいます。その仲間に支えられながら、自分と向き合い成長することができるのでしょうか？

韓国で生まれた友情と、恋愛模様もえがかれたさわやかな青春物語であり、今年度5・6年生読書感想文課題図書です。

